

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.63
2015.5



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

第3回「歯舞おさかな祭り」

過去最高の4,000人が来場！



歯舞産水産物や料理をPRする第3回「歯舞おさかな祭り」が5月24日、歯舞漁港屋根付き岸壁で開催されました。この日は天候にも恵まれ、過去最高の約4,000人の来場者が歯舞の新鮮な海の幸を堪能しました。

会場の鮮魚販売コーナーでは、開始直後から来場者が列を作り、開始30分程でホタテが完売、サケ、マスなどその他の魚種も売り上げを伸ばしました。また、歯舞漁協女性部が担当する食の販売コーナーでは、昆布うどん、昆布そばが開始1時間程で半分以上売り上げるなど大盛況となりました。テーブルセットで飲食を楽しむ人や、炭火焼コーナーでチャンチャン焼きやホタテを焼いて食べる人で、会場は大きな賑わいをみせました。

アトラクションでは歯舞市場部長による「タラの解体ショー」が行われ、多くの来場者が見守る中、見事な包丁さばきを披露し、ひとつひとつの部位を解説しました。

中央ステージでは、歌手の長渕剛さんのものまねでおなじみの英二さんによるものまねショーや、根室太鼓の演奏、歯舞中学校3年生による「よさこい」も披露され、迫力あるステージに会場は大きな拍手で包まれました。

このほか、ホテルねむろ海陽亭の「昆布焼きそば」、「さんまロール寿司」、漁協交流が行われている長崎県上五島町漁協の加工品販売など軒並み好評で、今年も大盛況の内におさかな祭りを終了することができました。

ご来場いただいた皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



歯舞漁協昆布加工場で体験学習

歯舞中学校の水産学習の一環として、4月23日、歯舞漁協にて歯舞中学校3年生28名が水産学習及び昆布加工体験を行いました。家業で昆布漁業を営んでいる生徒も多いことから、部分的な作業の手伝いの経験はあるものの、水揚から製品化までの全体像を見たことがないということで、昆布生産の一連作業をDVD鑑賞で学び、また「はぼまい昆布しょうゆ」の販売沿革や製造工程についても学習しました。

その後、地元PR活動の一環として修学旅行先（新千歳空港内）で配布する「はぼまい昆布しょうゆミニボトル」に生徒が作成したラベル貼り作業を行い、最後に昆布加工場施設見学・体験学習を行いました。

今回の水産学習及び地元PR活動を通じて故郷の素晴らしさを知ること、生徒達は故郷への関心と愛着をより一層深めることができました。



歯舞中修学旅行 新千歳空港で根室の魅力をPR

歯舞中学校3年生28人が5月19日、新千歳空港で地元特産品のPRをしました。地域貢献や郷土愛を育もうと、昨年度から修学旅行の一環で新千歳空港でPR活動をしています。中学生による空港でのPRイベントは珍しいそうです。

生徒たちはお揃いの法被に身を包み、「よさこい」を披露した後、歯舞漁協の人気商品「はぼまい昆布しょうゆ」に手作りラベルを貼ったミニボトル1,000本を空港を利用する観光客らに配布しました。

今回の体験を通じ、生徒達は歯舞の魅力や商品の素晴らしさを多くの人に伝えることができ、郷土愛を深める貴重な体験となりました。



トーサムポロ沼のアサリ漁場整備

5月21日、歯舞中学校の1年生16人が水産学習の一環として「アサリ漁場整備」体験を行い、アサリの養殖や現状について学びました。

歯舞アサリ部会（長山会長）と歯舞漁協振興部職員らが講師にあたり、生徒らは半島地区の水産業について講義を受けた後、トーサムポロ沼で漁場整備を体験しました。

小学生の頃に一度アサリ掘り体験をしている生徒が多かったため、半数以上の生徒は慣れた手つきでアサリの掘り出しに没頭。初めての生徒も講師のアドバイスに耳を傾けながら移殖作業に奮闘しました。こうした体験が、地域の担い手としての意識を高めるきっかけになることを願っています。



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

